

スマートフォン iPhone基本編



文字の入力方法を知ろう

令和7年4月

目次

1. 文字の入力

1-A 音声による入力	P2
1-B キーボードによる入力	P5
1-C キーボードの切り替え	P7
1-D 文字の変換	P12
1-E 文字の削除	P19
1-F カーソルの移動	P22

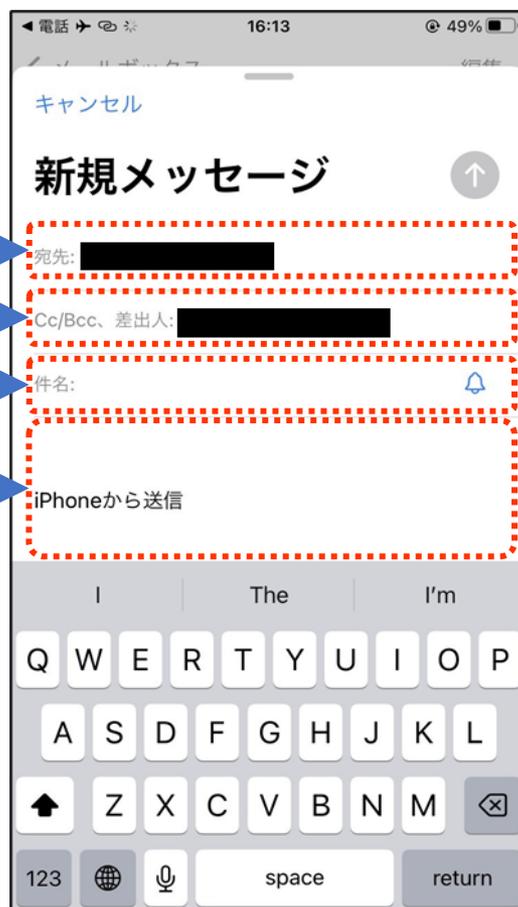
1

文字の入力

音声による文字の入力方法です

- 1 タッチやスワイプによりテキストフィールドをダブルタップし、入力可能な状態にします

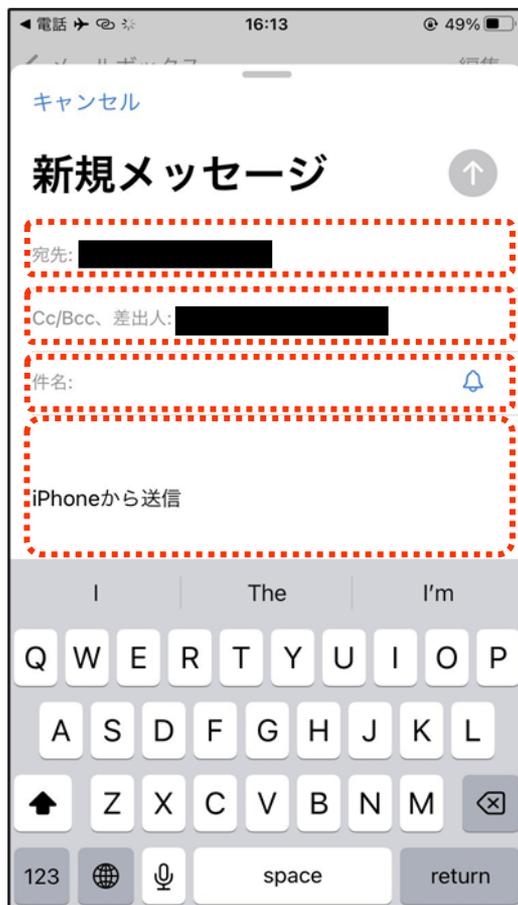
全てテキストフィールド



※連絡先登録時の氏名入力欄や、メールの件名や本文の入力欄、インターネットの検索ボックスなど入力したい文字を書き込みができる場所をVoiceOverでは「テキストフィールド」と表現します
音声による文字入力が行えるのはテキストフィールドに限ります

音声による文字の入力方法です

- ② 画面を2本指でダブルタップし、「ポポン」という合図の音がしたら入力したい内容を声に出します



※音声入力では声に出した内容が、テキストフィールド内に漢字かな交じり文で書き起こされます

非常に精度は高いですが、固有名詞や人名の場合は誤りが生じる場合があります

③ 音声入力の一時的停止や終了の際は、再び2本指でダブルタップします

※音声入力であっても、「テン」や「マル」と口にする事で文章内に句読点を入れる事が可能です
また、改行が必要な場合は「カイギョウ」と口にします
「？」や「！」といった一部の記号も、「ハテナ」や「ビックリマーク」と口にする事で入力可能です

今スーパーに来てるけどテン卵まだあったっけハテナカイギョウ気づいたらメールしてマル



メール文面

「今スーパーに来てるけど、卵まだあったっけ？
気づいたらメールして。」

()マーク ➡ 始まりは「カッコ」、終わりは「カッコトジ」と伝えます

「」マーク ➡ 始まりは「カギカッコ」、終わりは「カギカッコトジ」と伝えます

→←↓↑ ➡ 「上向き矢印」などと矢印の向きを伝えます。(「向き」という言葉が重要)

iPhoneのキーボードを使用して手入力を行う場合は、以下の2つの方法をおすすめします

① スプリットタップ

1本指で画面を触りながら、もう1本の指で画面をタップする操作です。画面上に触れた指が選択している項目を決定、実行します。例えば、「日本語かな」キーボードであれば、1本の指で行の頭の文字(ア行の場合はあ)に触れたまま、もう1本の指でタップしていくことでその行の文字から順番に入力できます。「あ」行を触れながらもう1本の指で4回タップすると「え」が入力できます。「English(Japan)」キーボードや「日本語ローマ字」キーボードであれば、1本目の指でアルファベットを探し、もう1本の指でタップすることで選択していた文字を決定していくことができます。

iPhoneのキーボードを使用して手入力を行う場合は、以下の2つの方法をおすすめします

② タッチ入力モード

文字入力時に1本指で入力したい文字に触れ、指を離れた瞬間に文字が決定、入力されます。テキストフィールド選択時に「ローター」で「入力モード」を選び、上下のスイープで「タッチ入力モード」に切り替えることで使用できるようになります。「English(Japan)」キーボードや「日本語ローマ字」キーボードでの入力時には特に便利です。また、「日本語かな」キーボードでは入力したい文字の行頭の文字に触れたまま1秒ほど待つと、行頭の文字の上下左右にその行の残りの文字が表示されるので、そのまま指をスライドして目的の文字に触れたら指を離して文字を決定します。

各キーボードの左下の言語キーをタッチしてダブルタップ、
またはスプリットタップによりキーボードが切り替えることができます



「空白」ではなく[space]と表示

漢字ローマ字変換可能

※初期設定では「日本語かな」・
「絵文字」・「イングリッシュジャパン」の3つがあります
一覧表示後は、目的のキーボード
名を読み上げるまで指を上へスラ
イドさせ、それから指を離すと素早
く目的のキーボードに切り替える
ことが可能です

キーボードを切り替えてみましょう

- 1 Siriを起動して「設定アプリを開いて」と声をかけます



- 2 「一般」をダブルタップします



キーボードを切り替えてみましょう

③ 「キーボード」をダブルタップします



④ 再び「キーボード」をダブルタップします



キーボードを切り替えてみましょう

5 「新しいキーボードを追加」をダブルタップします



6 「日本語」をダブルタップします

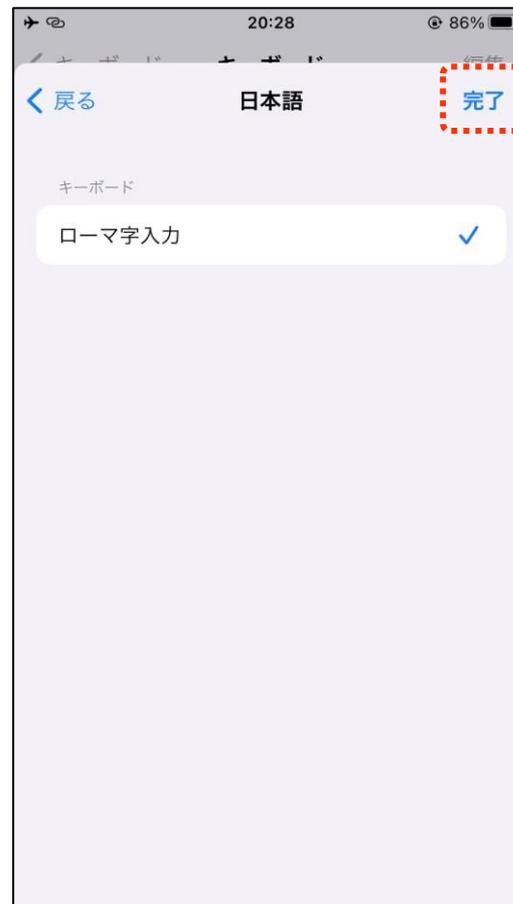


キーボードを切り替えてみましょう

- 7 「ローマ字入力」を
ダブルタップします



- 8 画面右上の「完了」を
ダブルタップします



※「日本語
ローマ字」
キーボード
が追加され
ます

文字変換時の注意点です

iPhoneのキーボードを使用して手入力を行う場合、漢字変換は自分で選択して行う必要があります。VoiceOverを使用していれば、候補の漢字の説明を読み上げてくれます。また、パソコンと同じようによく使う変換ほど上位に表示されるようになりますので、人により同じ文字でも変換候補の並び順が異なる場合があります。

VoiceOverのジェスチャーを利用して文字変換をしてみましょう

① 各種キーボードで文字入力を行います



② キーボード上で下にスワイプします



※スワイプを続けると変換候補を次々に選択していきます

VoiceOverのジェスチャーを利用して文字変換を試みましょう

- ③ 適切な変換候補をダブルタップ
します



※ダブルタップすると
変換されます

変換候補表示を利用して文字変換をしてみましょう

- ① 各種キーボードで文字入力を行います



- ② キーボード上部に変換候補が表示されます



変換候補表示を利用して文字変換をしてみましょう

- ③ 左右のスイープで目的の漢字を見つけたら
ダブルタップします



※ダブルタップすると
変換されます

キーボードの次の候補を利用して文字変換をしてみましょう

① 各種キーボードで文字入力を行います



② キーボード右側の「次候補」をダブルタップします



キーボードの次の候補を利用して文字変換をしてみましょう

③ 次候補のダブルタップを続けると変換候補を次々に選択していきます

④ 適切な変換候補をダブルタップします



※ダブル
タップすると
変換されます

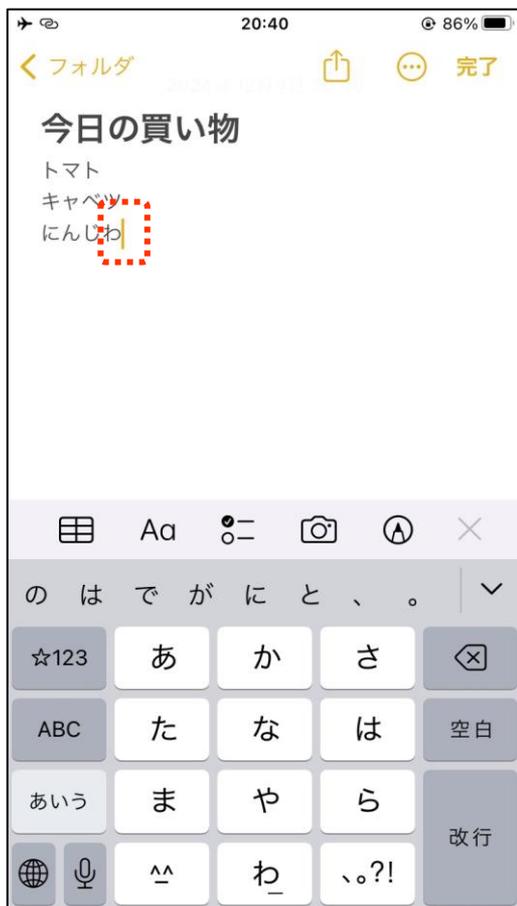
文字の削除に関する説明です

音声入力でもキーボード入力でも入力ミスがあった場合はキーボードで文字を削除します。誤りに気付いた場合には、表示しているキーボード右上の「削除」キーにタッチしてダブルタップするかスプリットタップを行います。ダブルタップやスプリットタップを行うたびに一文字ずつ削除されます。

いずれのキーボードも「削除」キーは画面の右端にあります。画面右下から上に向かって指をスライドしていくと発見しやすいです。

文字の削除方法です

- 1 削除したい文字の右側にカーソルを合わせます



- 2 キーボード右側の削除ボタンをダブルタップします



文字の削除方法です

- ③ カーソルの左側にある文字が削除されます



※間違えて「削除」キーを長押しすると、すべて消えてしまうことがあるので注意が必要です

カーソルの移動に関する説明です

iPhoneでもパソコンと同じようにカーソル位置を移動して文字を削除したり、挿入したりすることが可能です。

メモ内容や予定の書き換えなど修正が必要な場面は入力直後だけとは限らないため

カーソルの移動方法を覚えておくと便利です。

カーソルの移動方法です

- 1 ローターを使用して「文字」、「単語」、「行」などカーソルを移動したい単位を選択します

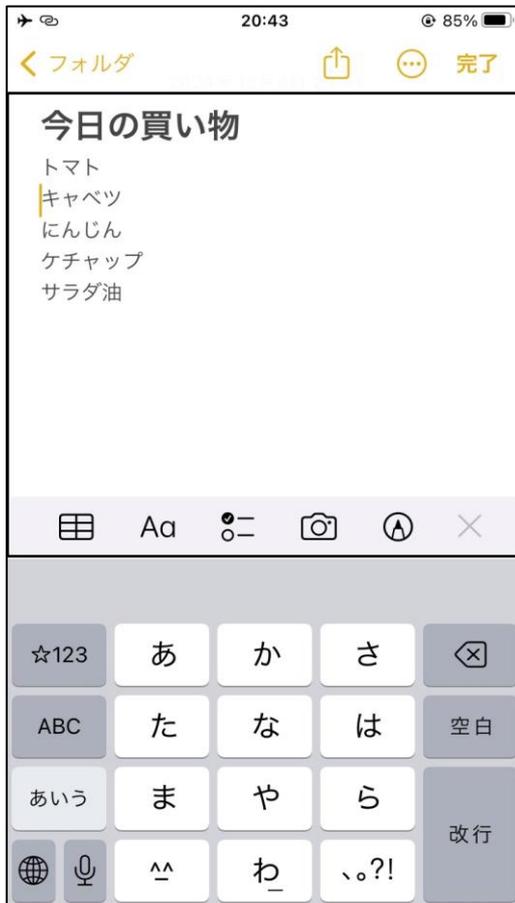


※スライドの画像は「文字」の場合です

カーソルの移動方法です

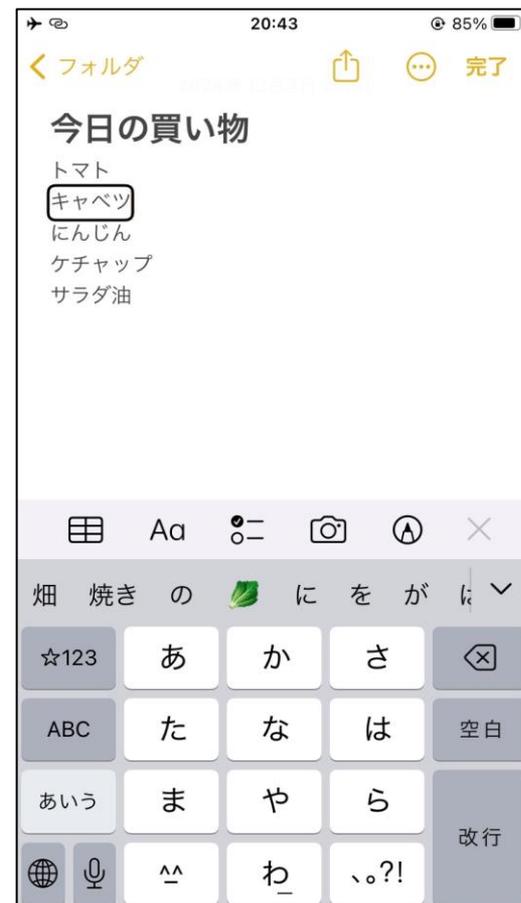
② 上下スワイプすると①の手順で選択した単位でカーソル位置が移動します

「文字」の場合



※ローターを「文字」に合わせてカーソル移動を行うと、漢字の詳細やひらがな・カタカナの判別など、情報を一文字ずつ読み上げてくれます

「単語」「行」の場合



カーソルの移動方法です

- ③ カーソル位置を確認し、文字の削除や入力を行います
※削除や入力方法はこれまでと同様です

